

件名	平成26年度 鳥取県新技術等実現化調査検討委員会
<p>■日時 平成26年9月3日(水) 14:00~15:30</p> <p>■場所 県庁第6会議室(本庁舎地階)</p> <p>■出席者 技術企画課 竹森課長、米増課長補佐、井上係長、西垣係長、横河技師 道路建設課 石賀補佐 松見委員長 西垣委員、鶴石委員、池本委員、伊藤委員、上田委員、泉委員</p>	
<p>【開催目的】 新技術・新工法調査検討課題について、選定を行った。また、平成25年度の実施状況について、報告を行った。</p> <p>選定結果</p> <p>○3提案について、全会一致で承認された。 なお、委員から下記の意見あり。 【提案1】セメント改良材等・・・ミキシング方法も合わせて検討すること。 【提案2】防草コンクリート・・・景観についての配慮も検討すること。</p> <p>■会長の選出について 松見委員長を選出。</p> <p>■新技術・新工法調査検討課題の選定について 【提案1】セメント改良材等の添加量の検討について (委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験場所の建設技術センターというのはどういうところか。 →(県) 公共工事の残土処分場。その一部を借りて試験を行いたい ・実際の機械を使って試験を行うということか。 →(県) そうです。 ・土質を分けて試験をするということか。 →(県) そうです。 ・土質を分けて試験をするとのことだが、あまり種類を分けると積算が大変になるのでは。 →(県) 実際の施工では、色々な土質のものがあるので、種類を分けて試験をし、一番結果の悪い土質の量以上を混ぜることとする。 ・民間試験機関は、データをもっていて地盤工学会で発表されている。建設技術センターも同様にデータを蓄積されているので、それを活用していただきたい。 ・現場での混ぜ方で強度にバラツキが出る。今回の調査に合わせて、混ぜ方も検討してはどうか。 ・攪拌が難しい。アタッチメントやフォークでやるなど時間がかかる。どれくらい混ぜたらいいのかも決めては。 ・混ぜる時間がかかるとそれだけ費用がかかる。 ・ミキシングの方法を検討するというのを追加しては。 ・マニュアルと違う基準を定めたときに、事故があった時の責任の所在はどうなるのか。 →(県) マニュアルの基準を見直して、県としての基準を設けるもの。設計上必要な強度は確保した上で、添加量の検討をするもの。適用については、検討する。 <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大まかには合意と言うことでよろしいか。 →(委員) 了解 <p>【提案2】防草コンクリートの工法検討について (委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査でひび割れを言われる。パネルの隙間から草が生えてくるかもしれない。その当たりの整理も必要。 →(県) 防草目的で草が生えたら意味が無いので、防草効果の検証も行いたい。 	

- ・密閉型はどうか。水が飽和すると斜面崩壊の原因になる。必ず水抜きを入れるとか検討しては。
 - ・吹付けは、新規はプラントを持ってくるのでいいが、維持管理はどうかも考慮すべき。
 - ・パネル式は、高いイメージがある。
 - ・防草マットというのでも検討にいれては。
 - ・調査費200万円は、現地にかかる費用か。どれぐらいの面積を想定しているのか。
→ (県) 概算金額のため、面積等の内容については、これから検討することになる。
 - ・防草効果の高い、低いがあるとコスト比較はできない。ではどうするのかも検討しては。
→ (県) 山と市街地では、求める防草効果も違う。景観を考慮した上で、使い分けも検討したい。
- (県) 今回の提案は、ムカデ芝で全て出来ないの、既存工法の見直しを検討する意図。
パネル式も生産が増えれば、コストも安くなると想定している。

(委員長)

- ・水抜きは、別に考えることとして、今回の検討は、工法に絞っては。
- ・景観が関係するので、市内や山での考え方の検討を。特に観光客が来たときの見た目のところが重要。検討にいれてください。
- ・資料収集も含めて実施してください。

【提案3】公共施設等から発生する雑草の有効活用について

(委員意見)

- ・検討は、机上のところか。金額がこれだけでできるのか。
→ (県) 予算は、本日のご意見を聞きながら今後検討を進めたい。
- ・家庭ゴミを混ぜるなど、関係部署と連携してもらいたい。
- ・本気ですると数年かかる。まずは下調べから進めては。
→ (県) エネルギー分野はよくわからない部分がある。我々だけでは出来ないの、幅広く基本的な調査から進めたい。
- ・再生エネルギーは、生活環境局が中心で、大学や町とやっていると思う。公共工事との連携を図るため、是非やってほしい。

(委員長) 今回の3提案については、改めて検討する宿題はないということで、各委員から出た提案を含めて進めていくということでよいか。

→ (委員) 了解。

■報告事項 (過年度事業の報告)

(委員)

- ・フェロニッケルについて、土に混ぜると固まるのでは。提案1の検討に含められるかも。
- ・経済性も必要かも知れないが、安全(事故処理コスト)という考えを加えて、ありえないことが起こった際にも対応できるようにしてほしい。
- ・基準が有り、ここまでは安全という設計の元、公共工事を実施されているが、そのアナウンスが減っている。その基準を超えたときにどうするのかという視点が必要。アナウンス方法を検討してください。

■今後の予定

(会長)

- ・今回承認されたので、改めて集まっての会は特に不要と思います。
- ・今後は、会長一任とさせていただきます、適宜各委員へメール等で情報提供ということでよろしくお願ひしたい。